

第 1 号様式（第 6 条関係）

年 月 日

（宛先）流山市長

申請者 住所
氏名
電話番号

流山市住宅用省エネルギー設備設置補助金交付申請書

流山市住宅用省エネルギー設備設置補助金の交付を受けたいので、流山市住宅用省エネルギー設備設置補助金交付規則第 6 条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

記

設 置 住 所	
住宅等の所有者氏名	
申請者の生年月日	年 月 日
補助対象設備の種類 未使用品であって該当する設備に <input checked="" type="checkbox"/>	太陽光発電設備 家庭用燃料電池システム （エネファーム） 定置用リチウムイオン蓄電システム V2H 充放電設備 太陽熱利用システム 断熱窓
太陽光 発電設 備設置 の場合	エネルギー管理システム（HEMS）の併設について該当するものに <input checked="" type="checkbox"/> 併設している。 併設していない。

	住宅の種類等 該当する住宅 等に☑	既存住宅	新築住宅
	太陽電池モジュールの公称最大出力合計値	キロワット (小数点以下第3位は四捨五入)	
太陽光発電設備と定置用リチウムイオン蓄電システムを設置している場合		両設備を併設しており、両方又は一方の設備の交付申請を行う。	
補助金交付申請額		円 (千円未満は切捨て)	
工事着工日 (既存住宅)	年 月 日	複数の設備について申請する場合は、それぞれの設備について、その他付記欄に記載すること。	
工事完了日 (既存住宅)	年 月 日		
引渡し日 (新築住宅)	年 月 日		
私の住民登録について市長が公簿等により確認することに、 同意します・同意しません(いずれかに を付けてください。) (自署) 氏名			
私の市税の納付状況について市長が公簿等により確認することに、 同意します・同意しません(いずれかに を付けてください。) (自署) 氏名			
その他付記欄			

記入例

第1号様式(第6条関係)

申請書類(不備のないもの)を全て揃えて提出した日 空欄でも可

令和〇年〇月〇〇日

(宛先)流山市長

押印はしなくても可。ただし記入に誤りがあった場合全て書き直してください。押印をした場合訂正印で可

申請者 住所 流山市平和台1-1-
氏名 流山 太郎
電話番号〇〇〇〇-〇〇〇〇

流山市住宅用省エネルギー設備設置補助金交付申請書
流山市住宅用省エネルギー設備設置補助金の交付を受けたいので、流山市住宅用省エネルギー設備設置補助金交付規則第6条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

記

申請者の生年月日
住宅所有者が別の場合
は注意してください。

設置住所	流山市平和台1-1-1	
住宅等の所有者氏名	流山 太郎	
申請者の生年月日	昭和〇〇年	〇月 〇〇日
補助対象設備の種類 未使用品であって該当する設備に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 太陽光発電設備 家庭用燃料電池システム (エネファーム) 定置用リチウムイオン蓄電システム 電気自動車充給電設備 太陽熱利用システム <input checked="" type="checkbox"/> 断熱窓	
太陽光発電設備設置の場合	住宅の種類等 該当する住宅等に <input checked="" type="checkbox"/>	エネルギー管理システム(HEMS)を設置している <input checked="" type="checkbox"/> 既存住宅 新築住宅
	太陽電池モジュールの公称最大出力合計値	3.33 キロワット (小数点以下第3位は四捨五入)

注意点

訂正する場合は訂正箇所に二重線を引き、申請書、請求書に使用しているものと同じ印鑑で訂正印を押してください。(捨印がある場合は訂正印不要)
修正液、修正テープ、砂消しゴム等は使用できません。

太陽光発電設備と定置用リチウムイオン蓄電システムを設置している場合	<input checked="" type="checkbox"/> 両設備を併設しており、両方又は一方の設備の交付申請を行う。	
補助金交付申請額	金額の訂正は不可。間違えた場合は、書類を書き直してください。	183,000 円 (千円未満は切捨て)
工事着工日 (既存住宅)	R2年4月5日	複数の設備について申請する場合は、それぞれの設備について、その他付記欄に記載すること。
工事完了日 (既存住宅)	R2年4月8日	
引渡し日 (新築住宅)	年 月 日	
私の住民登録について市長が公簿等により確認することに、 <u>同意します</u> ・同意しません(いずれかに を付けてください。) (自署)氏名 流山 太郎		
私の市税の納付状況について市長が公簿等により確認することに、 <u>同意します</u> ・同意しません(いずれかに を付けてください。) (自署)氏名 流山 太郎		
その他付記欄	太陽光発電設備 着工日：R2.4.5 完了日：R2.4.8 断熱窓 着工日：R2.4.5 完了日：R2.4.6	既存住宅に複数の設備を設置した場合は、それぞれの着工日と完了日を記載する。

太陽光発電設備の申請額の算出方法

モジュールの最大出力の小数点以下第3位を四捨五入する。

既存住宅は1kWあたり25,000円、新築住宅は1kWあたり15,000円を で求めた数字にかける。

(上限4kW、千円未満切り捨て)

HEMSを設置している場合、既存住宅は20,000円、新築住宅は10,000円を上乗せする。

定置用リチウムイオン蓄電システムを併設している場合は、50,000円を上乗せする。

例) 定置用リチウムイオン蓄電システム(過去に設置したもの)が設置されている既存住宅に、175Wの太陽光モジュールを19枚設置した場合

$175W \times 19 \text{枚} = 3,325W \quad 3.33kW \quad 3.33kW \times 25,000 \text{円} = 83,250 \text{円} \quad 83,000 \text{円}$

定置用リチウムイオン蓄電システムが併設されているので50,000円上乗せする。

併設による上乗せ補助は1住宅につき1回に限り申請できる制度です。太陽光発電設備と定置用リチウムイオン蓄電システムの両設備について交付申請する場合であっても、上乗せは5万円となります。(それぞれの設備につき5万円上乗せされるわけではありません)

断熱窓の申請額の算出方法

対象経費(設備本体及び工事費)から消費税を引く。

を4で割る。(上限8万円、千円未満を切り捨て)

例) 子供部屋の全部の窓を改修:10万円、寝室の全部の窓を改修:12万円、リビングの一部の窓を改修:15万円、トイレの窓を改修:5万円

上記の場合、対象となるのは子供部屋と寝室のみです。(リビングは全ての窓を改修していないので対象外、トイレは居室ではないので対象外。)

$(10 \text{万円} + 12 \text{万円} - 2 \text{万円}) \div 4 = 5 \text{万円}$